



ベルマーク新聞 2016年 新学学期号 発行所 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 104-0045 電話 (03)5148-7255 郵便振替口座00100-7-56036

ベルマーク教育助成財団 2016 新学学期号 発行所 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 104-0045 電話 (03)5148-7255 郵便振替口座00100-7-56036



http://www.bellmark.or.jp

ベルマーク運動 参加学校PTA 総数 27,596 幼稚園 5,142 小学校 14,579 中学校 6,464 高校 1,411 \*高校には大学・公民館を含む

# アイデアいっぱい 説明会

## 5月から全国95会場

新学学期が始まりました。ベルマーク運動も新しい仲間を歓迎します。新たに運動に参加したいという方、運動の仕組や実際の進め方を伝える「ベルマーク運動説明会」が、5月9日の東京・新宿会場からいよいよ始まりです。6月24日の宮崎県延岡会場まで、全国の主要都市95会場で開催します。「ベルマーク運動って?」「どうやって進めればいいのか?」「そんな、誰でもが楽しめる疑問や悩みにお答えします。どうぞ、お近くの会場にぜひご参加ください。」

ベルマーク運動説明会は今年で40回目になります。ベルマーク財団の主催で、参加は無料。運動の主任であるPTAなど参加団体のみならず、商品にベルマークをつけている協賛会社、それにベルマーク財団の三者が年に一度顔を合わせる楽しいイベントです。PTAで新しくベルマークを担当になった方だけでなく、個人やグループでベルマークに関心がある方、これから収集活動を始めたいという方もぜひお越しください。参加者は年々増え、昨年は、5052校・団体から1万4122人が参加しました。

説明会では、PTAで新しくベルマークを担当になった方だけでなく、個人やグループでベルマークに関心がある方、これから収集活動を始めたいという方もぜひお越しください。参加者は年々増え、昨年は、5052校・団体から1万4122人が参加しました。

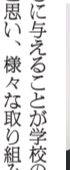
説明会では、PTAで新しくベルマークを担当になった方だけでなく、個人やグループでベルマークに関心がある方、これから収集活動を始めたいという方もぜひお越しください。参加者は年々増え、昨年は、5052校・団体から1万4122人が参加しました。

## 被災校支援息長く 新年度事業 バス代補助も継続



阿部真一 前校長

### 子どもは遊んで強くなる



岩手県宮古市立重茂小 阿部真一 前校長

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

被災校支援は、1960年に始まったベルマーク運動のそもそもの目的です。本年度も、全国100校を対象に、1校30万円まで希望する備品・教材を11台寄付する。また、協賛会社などからの寄付も合わせて、

## 飛べ飛べ

ベルマークの支援で購入した「フォームロケット」で投げる練習をする福島県南相馬市立金房小学校の子どもたち(7面に記事)



## 一歩ずつ前へ 東日本大震災5年

震災から5年が経過した。校長室から見える校庭は、今も仮設住宅が立ち並んでいる。校長室から見ると、校庭は、今も変わらない。それでも、休み時間になると、校長室の前の小さな広場に、子どもたちの元気な笑い声が響いている。遊び場の少ない子どもたちの体力づくりとして行っている全校の縄跳びの時間だ。音楽に合わせて、前回しとび、あやとび、交差とびをする。連続しとびや、あやとびに挑戦している子どもも、子どもたちはたくましく成長している。その姿を見ていると、難しいとは思っていない。早く子どもたちに広い校庭を取り戻してあげたいと思うことはない。

Asahi Soft Drinks advertisement. Text: 人はもっと、自然に。健康に。 4/26 新発売. Images of Asahi water bottles.

Articles about Bellmark activities. 協賛会社新たに2社 (Nacabashi and Iwano). 2社が脱退 (Nacabashi and Iwano). 被災地ルポ (Nacabashi and Iwano).